15. 本県の豊かな自然と次世代に引き継ぐ取り組みについて
農林高校

山梨県は果樹王国と呼ばれ、ブドウやモモの栽培を中心とした農業が盛んにおこなわれています。また、県土に対する森林率も極めて高く、森林を保全するための人材を育てるため、山梨県立農林大学校に森林学科が令和4年に開講されました。この豊かな自然を次世代に引き継ぐため、より多くの人々に、その大切さや関連業種の魅力を知ってもらうことが必要です。

そこで私は、農林高校の専門的な知識や技術を地域に還元する取り組みを提案します。

具体的には、農林高校を中心に、地域の幼稚園や小・中学校への「定期的な出前授業や技術指導」を行うことです。

高校生がリーダーとなり子どもたちと自然や農業に触れ合うことで、校内にとどまらない「学びの活性化」も期待できます。

このように世代を超えて魅力を伝える活動を増やすことこそが、山梨の豊かな自然を未来へつなぐ確かな一歩になると確信しています。以上で提言を終わります。





16. 空き家を活用した、高校生の学習環境の整備に関する提言
山梨英和高校

私の将来の夢は、医療従事者としてこの地域の医療を支え、この街の発展に貢献することです。しかし、学校帰りや休日に高校生が学習や探究活動などが行える居場所が山梨県内には不足しています。テスト期間になると県立図書館は多くの学生が集中し、混雑します。また、高校生が地域住民や大学生、地元企業と健全に交流できるスペースも限られていると感じます。

そこで、山梨県でも深刻化している空き家を活用して、高校生が安全に学習、探究活動、交流ができるスペースの設置を提言します。学習環境の充実だけでなく、地域との交流や探究活動を通して山梨の魅力を知り、進路実現や地域を支える人材の育成にもつながる拠点となるでしょう。一人一人の力を活かして山梨県を様々な面から支えていくリーダーへと成長するためにも、高校生が主体的に学び、地域と繋がれる拠点の整備を希望します。



